



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2022年 第2号 (8月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 小方頼昌 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】 春季学術大会関連のご案内 日本歯科専門医機構報告 学会プロモーション活動
葉機使用の考え方・学術大会ポスターチェックリスト整備 認定資格の認定期限変更について

国際交流委員会から



国際交流委員会委員長
吉村篤利

2022年度の国際交流委員会の活動と活動計画について報告させていただきます。2020年上旬から、COVID-19の世界的大流行により、多くの国際交流関連の活動が制限されてきましたが、徐々に再開されています。第65回度春季学術大会のInternational Sessionで、中国・韓国・フィリピンから各1名の若手研究者のWeb発表が国内からの現地発表とともに行われました。第65回秋季学術大会では、中華口腔医学会歯周病学専門委員会(CSP)のYaping Pan次期理事長のWeb講演が行われる予定です。

10月15、16日にソウルで開催される第62回韓国歯周病学会(KAP) General Sessionで、本会(JSP)の小方理事長が特別講演を行う予定です。さらに、KAPとの基本合意書期限(3年間)を迎えるため、基本合意延長の調印式も予定されています。

Asian Pacific Society of Periodontology (APSP) 関連では、当初2021年に予定されていた第14回 APSP

国際会議が8月29、30日にタイ・バンコクで開催されます。日本からも3名の先生が招聘演者としてご講演されます。第15回 APSP 学術大会が、2024年にベトナムで開催されることも決定しています。

また、第108回アメリカ歯周病学会(AAP)年次大会が、10月27~30日にアメリカ・アリゾナ州フェニックスにて、JSPと日本臨床歯周病学会(JACP)との共催で開催されます。大会期間中は、JSP・JACPからも複数の演者によるGeneral Session (GS), Focused Continuing Education (FCE) Course, Innovations in Periodontics (IP) Courseでの発表が予定されています。2020年のハワイ大会は、コロナ禍のためWeb開催となりましたが、今回は現地参加形式で開催されます。海外渡航制限が徐々に解除されるなか、6月20日時点で65名のJSP・JSCP会員に参加登録いただき、JACP/JSPポスターセッションに37題(基礎研究:14, 臨床研究:7, 症例報告:13, 歯科衛生:3)の演題を登録していただいております。サムライナイトやPan Pacific Session (PPS)についても、現時点では開催予定です。また、入国がスムーズに行えるように感染対策に関する文書を準備しております。COVID-19の推移がまだまだ見通せない状況ですが、会員の皆様の奮ってのご参加をお願いいたします。

フェニックスでお会いできる日を楽しみにしております。

第 66 回春季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

令和 5 (2023) 年 5 月 26 日 (金), 27 日 (土) の 2 日間におたり, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会をレグザムホール (香川県県民ホール, 香川県高松市) において開催いたします。今大会のメインテーマは、「歯周病を語ろう! ~その原点から未来へ~」といたしました。歯周病は口腔内の一疾患にとどまらず, さまざまな全身疾患と関連することが示されておりますが, 歯周病治療に関しては超高齢社会における医療地域格差や社会構造変化に伴い, さまざまな課題に直面しております。そこで, 原点から受け継いだ先見性を見つめ直し, 未来の社会に貢献する歯周病学・治療学の新たな価値について, 皆様と大いに「語る」大会にしたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症が 2 年以上にわたって続いており, 今後の状況変化の予測は困難でありますので, 学術大会の開催形式は, 現在のところ, 現地開催と講演等のオンデマンド配信を組み合わせたハイブリッド開催の方向で準備を進めております。

大会プログラムは, 特別講演として, 自然免疫機構と炎症制御に関する研究の第一線で活躍されております竹内 理先生 (京都大学大学院医学研究科医学専攻分子生体統御学講座医化学分野教授) に, また歯周病とも関連し, 同様に生活習慣病である動脈硬化症等の循環器疾患に対するアプローチについて佐田政隆先生 (徳島大学大学院医歯薬学研究部循環器内科学分野教授) にご講演いただく予定です。

シンポジウムⅠは「歯周病の病態機序を語ろう! 歯周病の基礎研究から」: 大原直也先生 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔微生物学分野教授), 前川知樹先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科高度口腔機能教育研究センター研究教授), 稲垣裕司先生 (徳島大学病院歯周病科講師), シンポジウムⅡは「歯周病の未来を語ろう! 新たな領域を開拓する歯周病専門医の挑戦~未来の歯周病専門家たちへ~」: 浦野 智先生 (医療法人浦野歯科診療所・大阪), 澤田弘一先生 (鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所・岡山), 新田 浩先生 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科総合診療歯科学分野教授), シンポジウムⅢは「歯周病による医科疾患の重症化リスクを語ろう! 歯周病の臨床研究から」: 吉成伸夫先生 (松本歯科大学歯科保存学講座 (歯周) 教授), 片桐さやか先生 (東京医科歯科大学

病院歯周病科准教授), 青山典生先生 (神奈川歯科大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野准教授) を企画しております。

認定医・専門医教育講演は二宮雅美先生 (徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野助教), 歯科衛生士教育講演は渡部 茂先生 (明海大学保健医療学部教授) に「歯科衛生士に必要な唾液の知識」(仮題) についてご講演いただく予定です。

また, 日本歯科専門医機構共通研修単位講演として, 村上圭史先生 (川崎医療福祉大学医療技術学部臨床栄養学科教授) に「院内感染対策」についてご講演いただきます。

そのほか, AAP (アメリカ歯周病学会) と KAP (韓国歯周病学会) からの招待講演, 歯科衛生士シンポジウム, ランチョンセミナー, 一般演題口演・ポスター, 衛生士口演, 臨床ポスター企画等を準備しています。詳細につきましては, 今後, 学術大会ホームページにてご案内いたします。

四国の玄関口・中枢都市として栄える高松市は, 多島美を誇る瀬戸内海に面しており, 学術大会会場であるレグザムホールは, 高松駅から瀬戸内海を眺めながらの徒歩 8 分の位置にあります。堀に瀬戸内海から海水が引き込まれた, 日本三大水城の一つである高松城の石垣により大小のホールが分かれています。全国でも珍しいスタイルとなっております。会場に隣接する高松城跡玉藻公園内の重要文化財の檜, 披雲閣や日本庭園と県立ミュージアム, 回遊式大名庭園である特別名勝・栗林公園, 源平合戦古戦場として有名な屋島等があり, また, 讃岐うどん以外にも, 瀬戸内海と山が近い立地を生かした魚介から山の幸までさまざまな食文化が根付いており, おいしさの魅力も詰まっております。

新型コロナウイルス感染症の収束を願っておりますが, 臨機応変にさまざまな感染症対策を講じて, 皆様ご安心・安全にご参加いただけますよう, スタッフ一同, 全力で準備に取り組んでおります。全国から多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会長 湯本浩通
(徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野)

1. 会期

令和5(2023)年5月25日(木)、26日(金)、27日(土)

2. 会場

レグザムホール(香川県県民ホール)
〒760-0030 香川県高松市玉藻町9番10

3. テーマ

歯周病を語ろう!~その原点から未来へ~

4. 事前参加登録期間

2022年10月24日(月)正午より
2023年3月24日(金)正午まで

5. 参加登録費

	事前	当日
正会員(歯科医師・医師ほか)	5,000円	8,000円
準会員(パラデンタルを含む上記以外)	3,000円	6,000円
非会員(歯科医師・医師)	10,000円	13,000円
非会員(上記以外)	5,000円	8,000円
学生(大学院生は除く)	当日のみ	1,000円

6. 演題および抄録登録期間

2022年10月24日(月)正午より
12月23日(金)正午まで

第66回春季日本歯周病学会学術大会 事務局
徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野
大会準備委員長:成石浩司
〒770-8504 徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15
TEL:088-633-9128 FAX:088-633-7345

第66回春季日本歯周病学会学術大会 運営事務局
(株)日本旅行 大阪法人営業統括部 MICE 営業部内
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1 山口玄ビル
6階
TEL:06-4256-3869 FAX:06-6204-1763
E-mail:jsps66@nta.co.jp

第66回春季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター (認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター)発表申込のご案内

学術大会における臨床ポスター(認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター)発表の演題募集は、一般演題とは別になります。受付は学術大会ホームページからのみになりますのでご注意ください。以下に概要を記します。

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細は学術大会Webサイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご確認ください。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリーとも、筆頭発表者が学会認定資格(認定医・専門医・指導医あるいは認定歯科衛生士)を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限ります。また、本学術大会における筆頭発表は1名1演題までといたします。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

令和4(2022)年10月24日(月)正午より
令和4(2022)年12月23日(金)正午まで

【注意事項】

A) 臨床ポスター、歯科衛生士ポスターは症例発表の場で、臨床研究の発表は認めておりません。臨床研究に該当する場合、一般演題での登録をお願いします。

B) 「認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方(薬機使用の考え方)」

https://www.perio.jp/member/certification/recognition/file/new/info_220602.pdf

「学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト(学術大会ポスターチェックリスト)」

https://www.perio.jp/member/award/file/special/poster_checklist.pdf

を遵守いただきますようお願いいたします。



薬機使用の考え方



学術大会ポスターチェックリスト

C) 登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延・不具合が起りやすいので、お早めに登録をお済ませください。

D) 演題申込時には学術大会ホームページ記載の留意事項を必ずご確認のうえ応募くださいますようお願い申し上げます。上記事項を逸脱する行為および演題内容については、発表をお断りすることがあります。

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます(専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位)。なお、感謝状の授与方法は第65回春季学術大会時より「学術大会終了後郵送」に変更となっております。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ210cm×幅90cmです。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を学術大会ホームページにてご案内していますのでご確認ください。演題番号の個所や顔写真の掲示場

所、「同意や承認」(手術の患者同意あり、発表の患者同意あり、未承認薬等不必要の表示、利益相反状態の開示(コメント))の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。印刷前にPDF形式で発表データを提出いただき、認定3委員会・大会校により、事前チェックを行います。なお、演題登録後に抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。問題がございましたら運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

認定医・専門医優秀臨床ポスター賞は選考対象となることを希望された発表が、ベストデンタルハイジニスト賞は歯科衛生士ポスター発表として演題登録いただいたすべての発表が選考対象となります(ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外)。なお、臨床ポスター賞・ベストデンタルハイジニスト賞では事前審査をいたします。詳細は学術大会ホームページの演題登録画面よりご確認ください。受賞発表および表彰は次回学術大会(第66回秋季日本歯周病学会学術大会)にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管(データ版・紙版とも)にご協力願います。

専門医委員会委員長 吉成伸夫

認定医委員会委員長 山本松男

歯科衛生士関連委員会委員長 坂上竜資

専門医・指導医・認定医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医・専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 専門医・指導医申請(第68回専門医・指導医認定審査)および各資格の更新

令和4(2022)年11月21日(月):受付開始

令和4(2022)年12月9日(金):締め切り(消印有効)

令和5(2023)年1月頃:申請および更新に関する書類審査会開催

令和5(2023)年3月頃:(専門医申請者のみ)専門医認定試験(ケースプレゼンテーション、口頭試問、ならびに筆記試験)開催

※第68回専門医認定審査より筆記試験が導入されます。書類審査合格通知時に詳細をご案内します。

令和5(2023)年5月25日(木):各資格申請・更新合格者を理事会で承認

令和5(2023)年5月26日(金):第66回春季学術大会(香川)時に合格発表

令和5(2023)年7月頃:専門医・指導医認定証発行*

※日本歯科専門医機構発行の歯周病専門医認定書

は令和5(2023)年度末に行われる運用審査承認後に発行予定

2. 認定医申請(第29回認定医認定審査)および更新
令和5(2023)年1月10日(火):受付開始
令和5(2023)年1月27日(金):締め切り(消印有効)
令和5(2023)年2月頃:申請および更新に関する書類審査会開催
令和5(2023)年5月25日(木):(申請者のみ)筆記試験会場:ホテルクレメント高松
申請・更新合格者を理事会で承認
令和5(2023)年5月26日(金):第66回春季学術大会(香川)時に合格発表
令和5(2023)年7月頃:認定医認定証発行
⇒平成30(2018)年1月1日より、新規認定医申請の際に、本学会が行う倫理に関する講演の受講(1回以上)が義務付けられました。
3. 認定歯科衛生士申請(第36回認定歯科衛生士認定審査)および更新
令和4(2022)年10月31日(月):受付開始
令和4(2022)年11月18日(金):締め切り(消印有効)
令和4(2022)年12月頃:申請および更新に関する書類審査会開催
令和5(2023)年3月頃:(申請者のみ)ケースプレゼンテーション
令和5(2023)年5月25日(木):申請・更新合格者を理事会で承認
令和5(2023)年5月26日(金):第66回春季学術大会(香川)時に合格発表
令和5(2023)年7月頃:認定歯科衛生士認定証発

行・認定歯科衛生士襟章送付

以上の各資格の申請・更新手続き,申請書類や規則等については,学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。

なお,規則・細則は改定されることがありますので,ホームページにおける申請受付前1カ月以内の最新の記載内容を確認してください。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医,専門医の研修施設を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は令和4(2022)年11月21日(月)~令和4(2022)年12月9日(金)(消印有効)です。申請・更新手続きについては,学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)に記載してありますので,これに従い手続きを行ってください。

認定医,専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会,指導医等主催による任意の研修会について,研修単位取得対象研修会として認定する制度です。申請期間は令和4(2022)年11月21日(月)~令和4(2022)年12月9日(金)(消印有効)です。手続きの方法等を学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)に記載しておりますので,これに従い手続きを行ってください。令和5(2023)年2月末頃までに専門医委員会の審査による認定の諾否を通知いたします。

日本歯科専門医機構報告

ニューズレター2022年1号以降,現時点までの専門医に関する対応について,会員各位にご報告します。流動的な状況もございますので,今後,取り扱い等の変更が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。これからも,会員各位に対しましてはタイムリーに情報を発信させていただきますので,会員情報の登録内容のご確認,ならびに電子メールご登録をお願いします。

口腔保健協会会員システム「OHASYS」

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の会員カード
をご参照ください。



1. 日本歯科専門医機構「共通研修」について

令和4(2022)年4月1日より「共通研修」制度が再編され,専門医新規・更新の手続きに際し,『①医療倫理,②医療安全,③院内感染対策,④患者・医療者関

係の構築，⑤医療関連法規・医療経済』の各5分野の受講歴が各1単位以上かつ，5項目を含む共通研修単位を毎年度2単位，計10単位の受講を必須とするカリキュラムへ変更となりました。学会ホームページに掲載しているフローチャートにて現時点のご自身の共通研修単位をご確認ください。

専門医「共通研修」確認用フロー
チャート（新規・更新共通）

https://www.perio.jp/member/certification/special/application_jdsb.shtml



本学会では会員負担を考慮し，日本歯周病学会学術大会への参加のみでカリキュラムを満たせるよう講演プログラムを編成のうえで春季・秋季学術大会内で「共通研修」に認定された講演を実施しております。専門医の先生方，資格取得を目指される会員の先生方におかれましては，各学術大会への参加をご検討ください。専門医申請時に5年間10単位の受講が必要です。

2. 専門医の認定証発行について

2019年度以降に新規・更新認定されました専門医の先生方にはすでにお送りした日本歯周病学会「歯周病専門医認定証」（学会認定証）のほかに，日本歯科専門医機構より「歯周病専門医認定証」（機構認定証）が準

備でき次第，日本歯科専門医機構より発行される見込みです。

従来から発行しております日本歯周病学会「歯周病専門医認定証（学会認定証）」「歯周病専門医記念の楯（希望者のみ）」は今後も発行いたします。

3. 専門医の新規申請時の筆記試験導入について

日本歯科専門医機構の指導により，令和4（2022）年度後期新規申請者より筆記試験を導入いたします。試験範囲等，詳細は書類審査合格時にご案内予定です。

4. 令和6（2024）年度以降における機構認証に関わる受益者負担（経費負担）について

ニュースレター前号（令和4（2022）年4月）でご報告させていただきましたとおり，令和6（2024）年度以降の専門医新規申請料・更新料に日本歯科専門医機構審査料として11,000円を上乗せし，受益者負担をお願いする予定です。

5. その他

機構より，専門医研修施設の新規申請・更新時における指導医の勤務実態・診療実績の提示が今後求められる可能性があります。その対応に関しては，申請・更新施設になるべくご負担にならない方法を本学会内で検討中です。

学会プロモーション活動について

ニュースレター2022年1号にてご報告いたしました国民に対する歯周病啓発活動について，進捗状況をお伝えします。

1. 国民向け新ホームページ「PerioBook」の作成

歯周病に関心がある，悩んでいる国民の皆様への情報提供に特化した新しい形のホームページを作成しております。このホームページは現在の学会ホームページとは別立てとし，現行ホームページより「歯周病Q&A」「認定資格者検索機能」を移動して公開予定です。

以下にテストページをご紹介します。公開までお待ちください。

2. 国民向け歯周病関連のPR動画「にゃんかむちゅー」の公開

日本臨床歯周病学会と共同で歯周病にあまり関心のない人向けのアニメ動画6本を制作し，良い歯の日

（4/18）に合わせてYouTubeで公開しました。本動画の制作目的は，歯を失う原因の1位は歯周病であること，45歳以上の50%以上が歯周病であるとともに，15～24歳でも約20%が歯周病に罹っていることを踏まえ，自分が歯周病になるわけがないと思っている若者に，歯周病の怖さ，予防と治療の必要性，歯科受診の重要性を周知することです。

SNS，ブログならびにホームページ等に本動画をリンクすること，アニメのスクリーンショットを掲載することは問題ございませんので，この動画を利用して，国民への歯周病啓発や患者様への説明等，幅広く使用していただきますようお願いいたします。



にゃんかむちゅー
公式YouTube
チャンネル

PerioBook

歯周病の知識 歯周治療の知識 歯周病予防の知識 歯周病の治療例 疑問

#歯周病って知ってる？

歯周病のガイドブック「PerioBook」

ABOUT

PerioBookってなに？

日本歯周病学会が監修する
歯周病のことが日本一よくわかるガイドブックです。
日本人が1番失う原因の疾患、それが歯周病です。
歯だけでなく全身疾患との関連性も多く報告されています。
そんな歯周病から大切な歯を守るためにはどうするべきか。
まずは歯周病についてよく知ることが大切だと考え、
歯医者の皆様と協力してこのガイドブックを作りました。

日本歯周病学会に所属する専門医たちが定期的に監修を行います。
日本一歯周病のことがわかるWEBサイト「Perio (歯周病) Book (本)」で読者の皆さまを歯周病から一人でも多く救えよう、
願っています。

PerioBookとは?

Contents

歯周病に関する情報を
3つのカテゴリから調べるができます。

- 歯周病ってどんな病気？**
歯周病という言葉を聞いたことがあっても、どのような病気か実はよくわからないという方は、こちらの記事を読むことをおすすめします。
- 歯周病ってどうやって治すの？**
歯周病の専門医たちが、歯周病の診断について解説しています。歯周病ってどうやって治すの？と疑問に思っている方はこちらの記事をお読み下さい。
- 歯周病から歯を守るの？**
歯周病から大切な歯を守るための大切なポイントをお伝え。歯周病を予防することは歯医者と協力することにも繋がります。予防方法はこちらの記事をお読み下さい。

TOPICS

歯周病にまつわる大切な情報をピックアップ！

- 歯周病を知る！**
歯周病がどんな病気か知りましょう。
- 歯周病セルフチェック！**
自覚症状を感じにくい歯周病。自分に当てはまるものはないか、セルフチェックしてみましょう！
- 私の口臭は歯周病？**
強い口臭は歯周病のサインかも!!
- きちんと歯磨きしよう！**
歯磨きにならないために身につけよう！
- 歯周病と全身疾患**
歯周病が関係する全身疾患について解説！
歯周病は口腔以外の問題ではない！
- その疑問にお答えします**
よくある疑問をまとめてみました！
- ケーススタディ**
歯周病の専門家たちが実際に治療した症例をご紹介します。
歯周病がどのように治されるか、どのように治療するかをよ～く知っていただける内容になっています。
- 専門医・認定医を探す**
歯周病の治療をしたい、と思われた方は、こちらからお近くの専門医や認定医をお探しください。
実際の予約は各歯科医院でお申し込みします。

PerioBook

歯周病を知っていますか？

病気を正しく理解することがより良い日常生活を送ることに繋がります。

アクセスはこちら！

MOVIE

にゃんかむちゅ

cat bites mouse

全6話公式YouTubeチャンネル公開中！

「かわいって書かれちゃった…にゃ」

ある日ネコの「にゃんちゃん」が、ネズミを食べようと大きなお口を開けると、ネズミに歯周病じゃないかと指摘されてしまう。

かまわず食べようとするけれど、生き残るために歯周病の恐ろしさを覚えて、ネコを歯周病。歯周病の恐ろしさに震えていたら、「せっかくかわいい顔してるのに、歯周病になったら…」などと、さりげなく慰めてくるネズミに、ちょっと胸キュン。

超面白いから、ネズミに誘われてしまったネコは、あいつ…絶対見送してやる…と腹巻を留めつつも、深い思ひが生まれていた。

恐ろしいような愛情のような…ネコとネズミのハートフルストーリーを楽しみながら、口腔ケアに役立つ知識を覚えて歯周病を防ごう！

ABOUT 歯周病とは

歯周病は、プラーク中の歯周病原細菌によって引き起こされる感染性炎症性疾患で、歯の周りの骨ぐき（歯肉）に炎症が起こり、さらに進行すると骨を支えている骨が溶けてしまう病気です。

歯と歯肉の隙間（ポケット）の清掃が行き届かないと、そこにプラークが停滞し炎症を起こし、歯肉が赤くなったり、腫れたりします。自覚症状に乏しいため、気がつかないうちにさらに進行すると、膿が出たり歯が大きく動揺し手遅れとなり、場合によっては、歯を抜かなければならなくなってしまう病気です。

なお、日本人の歯を失う原因の第1位は歯周病（37%）となっており、歯周病罹患率は15-24歳が20%、25-34歳で30%、35-44歳で40%、45-54歳は50%、そして55歳以上は55-60%という割合になっています。

歯周病の予防策

- ① 歯磨き・起床時の歯磨き
- ② デンタルフロスや歯間ブラシの使用
- ③ パス法
※歯ブラシの毛先を歯面に45°に当て、毛先をポケットに挿入し歯周縁を磨く
- ④ 1歯ずつの歯みがき
※歯ブラシを歯に持ち、毛先を歯根と歯肉に歯面に当てて上下に歯周縁を磨く
※1/3法と1歯ずつの歯みがきを使用すると効果的

にゃんかむちゅ～

【にゃんかむちゅー概要】

イラスト担当：カナヘイ 氏（イラストレーター・漫画家）

声担当：花江夏樹 氏（声優：アニメ「鬼滅の刃」竈門炭治郎役など）

理事長 小方頼昌
広報委員会委員長 三谷章雄
臨床研修委員会委員長 多部田康一

「認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方（薬機使用の考え方）」 「学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト（学術大会ポスターチェックリスト）」 整備について

令和4年度春季理事会で標記整備が承認されましたのでご報告申し上げます。

認定医・専門医・認定歯科衛生士申請時、ならびに認定医・専門医臨床ポスター、歯科衛生士ポスター演題投稿時にはご確認・遵守いただきますようお願い申し上げます。

1. 認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方（薬機使用の考え方）

認定3委員会を中心に、認定医・専門医・認定歯科衛生士における医薬品・機器の使用に関する考え方（以下、薬機使用の考え方とする）を改めて検討し、令和4年度春季理事会で承認されました。各資格申請資料の作成において、それぞれホームページに掲載されている「作成基準」「送付方法」ならびに「薬機使用の考え方」をご確認ください。

2. 学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト（学術大会ポスターチェックリスト）

学術大会臨床（認定医・専門医）ポスター、歯科衛

生士症例ポスターで発表するポスター作成に際して、

1. の薬機使用の考え方に準じて臨床ポスター応募時の「学術大会ポスターチェックリスト」を整備しました。臨床ポスターの発表の可否がわかります。昨今、倫理等への対応の徹底が急務になっています。申請者としてチェックが完了したという確認のために、自署のうえ提出をお願いいたします。

3. 発表ポスターでの「患者同意，発表同意，未承認薬使用状況の宣言，利益相反の公表」の徹底

個人情報保護や倫理等への対応の徹底が急務になっています。学術大会発表ポスターでは「患者同意，発表同意，未承認薬使用状況の宣言，利益相反の公表」を必ず明記してください。特に利益相反については、症例発表においても公表することが厚生労働省から求められていますので、遵守いただきますようお願い申し上げます。

※1, 2については次頁よりご確認ください。

認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方（薬機使用の考え方）

歯周治療の進歩や多様化に伴い、日本歯周病学会の認定医・専門医申請および学術大会臨床ポスター発表に際して、さまざまな治療法が用いられた症例が提示されるようになりました。そのなかには、日本歯周病学会の倫理規定との整合性等との関係から、同治療の妥当性を本学会の委員会等において判断することが困難なケースが散見されるようになってきました。本文書では、日本歯周病学会の認定医・専門医申請症例を以下の①～③のケースに区別して整理し、医薬品・医療機器等の使用に関する考え方を下記のように再定義いたします。この再定義を基に、今後の本学会における症例申請や症例発表をご準備いただくよう、お願いいたします。

I. 申請症例の内容

①国内承認された医薬品・医療機器等を、その適応および添付文書記載の方法に準じて用いている。その使用にあたって患者のインフォームドコンセントが取得されていることを前提に用いている。

②国内承認された医薬品・医療機器等を、歯科医師の裁量権の下、患者のインフォームドコンセントが書面をもって取得されていることを前提に、添付文書に記載されていない方法で用いている。

例) 国内承認済みの複数の医薬品・医療機器の併用や、歯科領域での適応はないがその他の適応で国内承認された医薬品・医療機器等を歯周治療に応用した等

③国内未承認の医薬品・医療機器等を、わが国で定められた法規等の必要な手続きを行っていること、その使用にあたって患者のインフォームドコンセントが書面をもって取得されていることを前提に用いている。

II. 認定医・専門医・指導医申請症例について

1. 認定医の申請症例は、原則として標準的治療法(上記①)で行う。ただし、特別な理由があれば、その理由を付記し、併用療法等(上記②)の必要性や妥当性の根拠を示すことで、その症例を可とする。

2. 専門医の申請症例は、標準的治療法(上記①)に加え、併用療法等(上記②)の必要性や妥当性の根拠を示すことで、その症例を可とする。国内未承認や歯

科領域での適応が取られていない医薬品・医療機器等については、その使用根拠の説明を厳密に求める(上記③)。

3. 難症例や重症例を申請する際に、国内未承認の医薬品・医療機器等を使用せざるをえないと主治医が判断した場合(上記③)は、その必要性や妥当性の根拠を示すことに加え、法律などの規則を遵守した実施であることを明確に示す必要がある。

例) 欧米で販売されている医薬品・材料を個人輸入した場合の厚生労働省輸入確認書(旧制度の薬監証明)の発給番号等を記載する。

4. ただし、③に該当する場合においても、ヒト由来医薬品・医療機器等(具体的には、DFDBA, FDBA, アローダム等)を用いたものは、申請用症例としては認めない。

5. 国内未承認の医薬品・医療機器等を用いた症例でも、それらが国内承認された後では承認前に施行されていても申請に用いることができる。

例) ガイストリッヒバイオオス, 0.3%リグロス

6. 臨床研究の被験症例(Institutional Review Board(臨床試験審査委員会:IRB)等の承認を得たもの)を申請に用いることを否定しない。ただし、認定医・専門医の技量を判断するうえで妥当であるかどうかは、個々に判断される。

例) 臨床研究として実施された試験的歯周外科のみが行われている症例を外科症例とすることは不適と判断される。ただし、同患者に上記①あるいは②の治療が他部位において実施されている場合には、外科症例として是と判断される。

7. いずれの場合も、患者の同意を得たうえでの安全な医療の実施であることを明確にし、申請や公表については個人情報保護と患者の権利確保を厳守しなければならない。患者からのインフォームドコンセントを書面で取得したうえで実施したものであること。

8. 再生医療等安全性確保法等に関わる治療法を含む場合は、専門医申請症例として技量を評価する症例として妥当か、委員会で判断する。

2022(令和4)年6月2日
専門医委員会・認定医委員会・歯科衛生士関連委員会

日本歯周病学会学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト (臨床ポスターチェックリスト)

学術大会臨床(認定医・専門医)ポスター、歯科衛生士症例ポスター(以下、臨床ポスター)で発表できるのは、歯周治療に関する症例報告です。「認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方」に照らして発表のご準備をお願いいたします。(ご自身の症例が下の質問群に当てはまらない場合は、事務局までお問い合わせください。)

Q1. あなたの発表内容は症例報告*ですか？

はい → Q2へ

いいえ → 疫学研究や臨床研究#の場合は、一般演題に応募してください。

※ 症例報告とは、1例から数例の治療経過や良好な結果をまとめて報告したもので、診療の有効性・安全性を評価するなど研究的要素を含まないもの。

症例集積、ケースシリーズ、通常の診療を越えた医療行為で研究目的のもの、通常の診療を越えない医療でも群間比較等研究や調査を意図したもの。

Q2. 「厚労省未承認薬・材料・医療機器の使用」「適応外使用」に該当しますか？

はい → Q3へ

いいえ → Q5へ

Q3. 「認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方」の申請症例I②またはI③に当てはまりますか？

I②に該当 → Q7へ

I③に該当 → Q4へ

Q4. 以下のいずれに該当しますか？

I③かつII4に該当 → 臨床ポスターでは発表ができません。

I③かつII5に該当 → Q7へ

I③かつII6に該当 → Q7へ(ただし、臨床研究に該当しないか個々に再審査をします)

Q5. 再生医療等製品を使用した症例ですか？

はい → Q6へ

いいえ → Q7へ(I①に該当すると思われる)

Q6. 再生医療等安全性確保法・医薬品医療機器等法等の関係法規を遵守し実施しましたか？

はい → Q7へ

いいえ → 臨床ポスターでは発表ができません。

Q7. 「手術の同意」について書面でインフォームドコンセントを得ていますか？

はい → 公表可能^b(公表予定のポスターは事前にチェックを受けます。)

いいえ → 臨床ポスターでは発表ができません。

^b 以下の点に留意ください。

・個人情報保護法を遵守していること。

・日本国以外で医療が実施された場合、その国・地域の法規を遵守していること。

発表演題名： _____

筆頭発表者名(自署)： _____

申請日：(西暦)

年

月

日

2022(令和4)年6月2日

専門医委員会・認定医委員会・歯科衛生士関連委員会

学会認定資格の認定期限変更について

令和4(2022)年度の春季理事会にて各認定資格における規約の一部改正が承認され、本学会が認定しております各資格(認定医、専門医、指導医、研修施設、ならびに認定歯科衛生士)の認定期限が下記のとおり変更されました。改正されました規約は学会ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。なお、すでに授与しました認定証には旧規約に基づく認定期限が記載されておりますが、改正後の規約に読み替えていただければ幸いです。何卒よろしくご願ひ申し上げます。

1. 変更点

認定資格の有効期限が「認定した期日から5年後」から「認定した期日から5年経過後の6月30日、または12月31日まで」へ変更になりました。具体的には下記のとおりとなります。

春季合格者：現行有効期限を6月30日まで延長する。

秋季合格者：現行有効期限を12月31日まで延長する。

2. 更新について

従来どおり「認定期限の1年前から受付」となります。この有効期限延長に伴い、更新機会の変更・喪失はございません。

例) 令和4(2022)年12月14日が有効期限と認定証に記載された専門医

→有効期限は令和4(2022)年12月31日へ延長となります。

3. 認定証再発行について

新しい認定期限での認定証発行を希望される会員は、再発行費用(2,200円)を納入いただければ可能です。希望される場合、学会事務局までお問い合わせください。

認定医委員会
専門医委員会
歯科衛生士関連委員会

各賞および奨学金助成募集のご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

1. 日本歯周病学会奨励賞(Hu-Friedy Award)(令和4(2022)年度)

令和3(2021)年度実績：採択数4/応募数7

奨励賞は、歯周病学の発展に寄与する学術論文を発表した若手研究者を表彰するために、本学会名誉会員見明 清 東京歯科大学名誉教授の寄付金を基金として、平成7(1995)年に設けられました。ヒューフレディ株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞(奨励賞楯)のほかに副賞Hu-Friedy Award(賞金3万円、クリスタルトロフィーならびに同社製品)が贈られます。4名以内が選考されますので、学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、ホームページ上で受け付けます。

<https://www.perio.jp/member/award/encourage>

ment.shtml

申請期間：令和4(2022)年11月1日～12月9日

申請書類提出用ID：JSP-2022



2. 日本歯周病学会教育賞(Ishiyaku Award)(令和4(2022)年度)

令和3(2021)年度実績：採択数1/応募数3

教育賞は、歯周病学教育の発展に寄与した取組みを表彰することを目的としております。表彰対象は、歯周病学の教育の発展に寄与する取組みです。応募資格は、取組み代表者が本学会の会員であること、過去に本賞を受けたことがないことが条件です。なお、本賞は副賞として医歯薬出版株式会社のスポンサーシップ

を得ており、受賞者には本賞（表彰状）のほかに、副賞 Ishiyaku Award（賞金 5 万円）が贈られます。学会ホームページの応募要項をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、郵送で受け付けます。

<https://www.perio.jp/member/award/education.shtml>

申請期間：令和 4（2022）年 11 月 1 日～12 月 9 日
（郵送、消印有効）



3. 奨学金助成（令和 4（2022）年度募集 令和 5（2023）年度実施）

令和 3（2021）年度実績：採択数 0/応募数 1

日本歯周病学会は、次世代の歯周病学研究の質の向上を支援するために、若手研究者に対する奨学金助成を行います。本奨学金は、本学会が平成 23（2011）年度から基金として準備し、平成 25（2013）年度に設置されたものです。助成者は、申請者から 2 名以内（1 件の上限は 100 万円）が選考されます。応募の条件が定められていますので、学会ホームページの規程をご一読のうえ、若手研究者の皆様には奮ってご応募ください。本賞の応募は、ホームページ上で受け付けます。

<https://www.perio.jp/member/award/scholarship.shtml>

申請期間：令和 4（2022）年 11 月 1 日～12 月 9 日
申請書類提出用 ID：JSP-2022



4. Young Investigator Award（SUNSTAR Award）（令和 5（2023）年度）

令和 4（2022）年度実績：応募数 3（採択数は第 65 回秋季学術大会で決定）

本賞は、学術大会発表において優れた研究を発表した若手研究者を表彰することを目的としております。表彰対象は、本学会当該年度の日本歯周病学会 Young Investigator Award に応募し、学術大会に発表された口頭発表とします。本賞は副賞としてサンスター株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞（Young Investigator Award 楯）のほかに、副賞 Sunstar Award（賞金 5 万円と記念品）が贈られます。応募の条件が規定されていますので、学会ホームページの応募資格（申請期間開始日までに掲載予定）をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、ホームページ上で受け付けます。

<https://www.perio.jp/member/award/young.shtml>

申請期間：令和 5（2023）年 2 月 1 日～3 月 3 日

申請書類提出用 ID：JSP-2023



5. 日本歯周病学会地域活動賞（令和 5（2023）年度）

令和 4（2022）年度実績：採択数 3/応募数 4

本賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康増進に寄与した優れた活動業績を上げられた団体を表彰することを目的としております。表彰対象は地域社会の歯科保健、特に歯周病治療の向上に優れた功績のあった団体です。応募の条件が定められていますので、学会ホームページの規程をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、郵送で受け付けます。

<https://www.perio.jp/member/award/regional.shtml>

申請期間：令和 5（2023）年 2 月 1 日～5 月 31 日
（郵送、消印有効）



歯科衛生士教育講演・臨床研修会のご案内

歯科衛生士教育講演

今年度は宮崎県、沖縄県での開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況に鑑み、開催日時・方法を決定いたします。詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>

臨床研修会

今年度は愛媛県、群馬県、沖縄県、福井県での開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況に鑑み、開催日時・方法を決定いたします。詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>

各賞・助成選考結果

各賞・助成の概要につきましては、学会ホームページに掲載しております。なお対象者および受賞者の所属は、選考・受賞時のものです。

学会賞 (SUNSTAR Award)

梅田 誠

(大阪歯科大学附属病院歯周病学講座・教授)



三辺正人

(文教通り歯科クリニック・院長)



森田 学

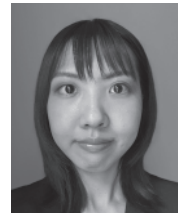
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野・教授)



奨励賞 (Hu-Friedy Award)

山崎恭子

(新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野)
「Oral Pathobiont-Induced Changes in Gut Microbiota Aggravate the Pathology of Nonalcoholic Fatty Liver Disease in Mice」



畑野紗希

(広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学分野研究室)
「The role of nuclear receptor 4A1 (NR4A1) in drug-induced gingival overgrowth」



菅 毅典

(福岡・菅歯科・小児歯科医院)
「Characterization and Study of Gene Expression Profiles of Human Periodontal Mesenchymal Stem Cells in Spheroid Cultures by Transcriptome Analysis」



中尾雄紀

(九州大学大学院歯学研究院
歯周病学分野)

「Exosomes from TNF- α -
treated human gingiva-de-
rived MSCs enhance M2
macrophage polarization and
inhibit periodontal bone loss」



ベストデンタルハイジニスト賞 (TAKARA BELMONT Award)

宇井みゆき

(三重・菰野きむら歯科)
「ラポール確立の重要性を再
認識した広汎型慢性歯周炎
Stage IV Grade C の一症例」



教育賞 (Ishiyaku Award)

研究者育成ファンド

大澤銀子

(日本歯科大学附属病院総合
診療科)

「能動学習のための仕掛けを
組み込んだ遠隔授業における
グループ討議とピア・ラーニ
ングによる臨床実地問題作成
を通した学生の学びに関する
検討」



該当者なし

Young Investigator Award (SUNSTAR Award)

日吉 巧

(新潟大学大学院医歯学総合
研究科歯周診断・再建学分野)
「好中球エラストラーゼの歯内
上皮バリア傷害作用による歯
周炎重症化メカニズム解析」



優秀臨床ポスター賞 (Quintessence Award)

最優秀賞ポスター賞

二宮雅美

(徳島大学大学院医歯薬学研
究部歯周歯内治療学分野)

「感冒後に重篤化した壊死性
潰瘍性歯肉炎の一症例」



三上理沙子

(東京医科歯科大学大学院医
歯学総合研究科歯周病学分
野)

「歯周炎および口腔衛生が人
工透析患者の生存率に与える
影響—前向きコホート研究—」



優秀賞ポスター賞

星 嵩

(新潟・星歯科医院)

「上顎第一小白歯の3度根分
岐部病変に対してリグロス®
と自家骨を併用した歯周組織
再生療法を行なった一症例」



企画調査研究助成終了報告

AI を用いた歯周病の診断と進行予測に向けて
—口腔内細菌叢の次世代シーケンスデータを用いた
多変量解析—

山城圭介（神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科（前
岡山大学病院 歯周科））

【背景】

歯周病の診断においても、AI が活用されている（Revilla-León M, *et al.*, J Prosthet Dent, 2022）。しかし、これらの研究は歯垢の検出、歯肉炎の診断、口腔内画像からの歯周病の診断、および根尖周囲、咬合性外傷、パノラマ X 線写真からの歯槽骨喪失の診断が主となっており、細菌検査の結果を利用したものはいまだない。本研究の位置づけは、歯周病の診断および進行予測に、既存の検査に加えて次世代シーケンスを用いた口腔内細菌叢のビッグデータを用いて検証することで、将来 AI を用いた大規模な解析を行うための pilot study とする。

【方法】

歯周病専門医・認定医が所属する歯科医院を受診する歯周病患者を、研究対象者とした。それぞれの患者における歯周組織検査とデンタルエックス線検査について、残存歯数、義歯使用の有無、4 mm 以上の歯周ポケット（PPD）の割合、BOP 陽性率、PISA、動揺歯数、骨吸収度を調べた。細菌検査の方法として、各患者の

最深歯周ポケットにペーパーポイントを 3 本挿入し、1 分後に PBS を含むエッペンチューブに移した。その後ただちに冷凍庫にて保管した。検査は初診時と歯周基本治療終了時の 2 回行うこととした。サンプルから細菌 DNA 抽出後、次世代シーケンスを用いた細菌叢解析を行った。

【結果】

現在までに同意取得にいたった歯周病患者は、6 施設、25 名（そのうち基本治療終了 10 名）であった。初診時（25 名）と基本治療終了後（10 名）での細菌叢を比較すると、多変量解析である ANCOM 解析では著明な変化はなかった。 α 多様性においては、有意差はみられなかったが、基本治療終了後で菌の多様性が減少した。 β 多様性においては、著明な差はみられなかった。個々の菌に着目すると、細菌叢に占める *Pg* 菌の割合は個体差はあるものの、おおむね減少傾向がみられた。著明な細菌叢の変化がみられなかった理由としては、歯周治療時に抗菌薬などを使用していないことが原因と考えられる。歯周病の程度と菌叢の種類など多変量解析および AI を用いた機械学習モデルを作成する際にも、サンプル数が多いほうが効果が高いと考えられるため、こちらに関してもサンプル数を増加した後に新たに解析を行う予定である。本研究内容は、第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会で発表する予定である。

第 65 回春季学術大会における「若手研究者の集い」開催報告

第 65 回春季日本歯周病学会学術大会における「若手研究者の集い」の世話人を務めさせていただきました。岩手医科大学歯学部歯科保存学講座歯周療法学講座の佐々木大輔と申します。この度の「若手研究者の集い」は、昨春に引き続き WEB 開催とさせていただきました。最終決定直前まで現地での開催を模索しておりましたが、第 65 回春季日本歯周病学会学術大会の現地参加者に人数制限（1,000 名限定）が設けられましたことから、「若手研究者の集い」の現地開催となると、この 1,000 名のなかからの参加者となります。

なるべく多くの若手研究者に参加していただきたい想いから、学会あり方委員会委員長の沼部幸博教授ともご相談させていただき、参加希望者に人数制限のかからない形の WEB 開催とさせていただいた経緯となります。WEB 開催は直接の対面での議論ができない欠点もありますが、今回であれば東京まで足を延ばさなくても参加できるという利点もあります。この利点を生かして、第 65 回春季日本歯周病学会学術大会「若手研究者の集い」は 53 名の先生に参加していただきました。参加していただきました先生方には深く御礼を

申し上げます。

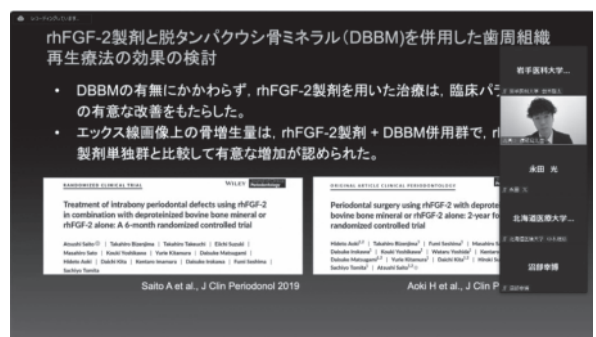
今回の「若手研究者の集い」の概要は、通常の2時間枠で計画し、開会の挨拶から始まり2名の演者による各40分程度の講演動画を視聴後、質疑応答という形をとり、その後に意見交換会という名のもとに幅広い議論が展開できる内容とさせていただきます。

講演1. 「海外生活と研究での経験を活かした医科大学での現在」(澤田俊輔先生・関西医科大学附属病院 歯科 口腔外科 口腔ケアセンター)：澤田先生は岩手医科大学歯学部附属病院歯科医療センター研修医を修了した後、Transpacific Hawaii College に入学され、これをクレジットにサンフランシスコ州立大学に入学、その後岩手医科大学に戻り岩手医科大学歯学研究科大学院を修了。歯周療法学分野常任研究員として勤務後、ご家庭の事情もあり実家に近い関西医科大学耳鼻咽喉科外科学講座歯科口腔外科に所属、という通常では経験できない多彩なキャリアをおもちの先生となります。このようなキャリアにいたった経緯、また医科大学所属でありながら歯科医師として勤務されてい

る経験を若手の先生目線で講演していただきました。

講演2. 「FGF-2が糖尿病状態の歯周組織再生に及ぼす影響についての検討」(備前島崇浩先生・東京歯科大学千葉歯科医療センター)：大学院時代から行っている「糖尿病状態における歯周組織再生」をテーマに、薬物誘発型の糖尿病ラットの歯周組織欠損モデルにFGF-2を応用し、歯周組織治癒を健常群と比較検討した研究から、予知性の高い歯周組織再生を実現するためのスキヤフォールド(足場)の研究まで、大学院時代から現在にいたるまでの備前島先生の研究者としての経緯を、海外発表経験談を踏まえながら講演していただきました。

今回の「若手研究者の集い」は、昨春岩手医科大学が主管で行いました第64回春季日本歯周病学会学術大会のコンセプトに則って開催させていただいております。そのコンセプトは2つあり、1つが「私立大学では数少ない医療系総合大学としての医科歯科連携」について、もう1つが「市販されてから5年の月日が経ったリグロスの再考」です。今回の「若手研究者の集い」



は、若手研究者の目線での「医科歯科連携」と「リグロスの再考」を考察したい想いがあり、澤田先生・備前島先生に講演をお願いした経緯があります。それに加えて澤田先生は多彩な留学経験があり、備前島先生は数多くの海外発表経験をおもちで、まさにわれわれが開催したい「若手研究者の集い」の演者として適任でありましたし重責を務めていただきました。心より感謝申し上げます。

奥羽大学の高橋慶壮教授から世話人を引き継ぎ、前回同様コロナの収束目処が立たないなかでの企画・開催となりました。大会長の佐藤秀一教授をはじめ、学

会あり方委員会委員長の沼部教授、日本歯周病学会事務局の多大なご協力があり無事盛況に開催できましたこと、この場をもちまして厚く御礼申し上げます。来春の第66回春季日本歯周病学会では引き続き、東京大会の準備委員長（菅野直之先生）に世話人をお願いしたいと思います。今後の日本歯周病学会を支えていくであろう若手研究者が集える場所として、この「若手研究者の集い」がさらに発展していきますこと、心より祈念申し上げます。

世話人 若手医科大学 佐々木大輔

日本歯周病学会会誌のご案内

前回のニュースレター以降、刊行された日本歯周病学会会誌の掲載論文をご紹介します。日本歯周病学会会誌は、2015年よりオンライン化され、J-STAGEで閲覧できます。また、発行に合わせてメールアラートを配信しておりますので、学会にメールアドレスを登録されていない会員各位におかれましては、本学会ホームページよりご登録をお願いします。

日本歯周病学会会誌

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/periodo-char/ja>



日本歯周病学会会誌 Vol. 64 (2022) No. 1

• ミニレビュー

「歯周治療におけるインプラント治療—最適な上部構造体装着法についての考察—」

西田哲也，佐藤秀一

「安心・安全な歯周治療のための簡便なストレス軽減法の応用」

下地伸司，竹生寛恵，菅谷 勉

「低侵襲の歯周組織再生療法に向けた再考と展望」

東 仁，田口洋一郎，嘉藤弘仁，緒方智壽子，津守紀昌，山脇 勲，山内伸浩，今井一貴，梅田 誠

• 原著

「アラントイン，グリチルリチン酸ジカリウム，アズレンスルホン酸ナトリウム水和物は糖化を抑制することで最終糖化産物による歯肉炎症を抑制する (*in vitro*)」
柚島真里，本山実穂，山口継乃，木村光夫，西永英司

• トピック紹介

「PISA は医科歯科連携の共通言語となりうるか」

西 裕美，宗永修一，河口浩之

• 症例報告

「侵襲性歯周炎患者に対する非外科的歯周治療とホームケアの支援」

岩佐美里，関野 仁

日本歯周病学会会誌 Vol. 64 (2022) No. 2

• ミニレビュー

「miRNA を用いた転写因子制御による歯周組織構成細胞の分化・誘導の可能性」

高井英樹，小方頼昌

「半導体レーザーによる抗菌光線力学歯周療法—特定臨床研究の実際—」

福田光男，林 潤一郎，岩村侑樹，佐々木康行，藤村岳樹，永原絢子，三谷章雄

• 原著

「COVID-19 対策で実施した臨床実習におけるスクーリング技能に対する Web 自宅学修方法と教育評価」

小出容子，大谷貴之，滝口 尚，菅野真莉加，山本松男

「CAL から見た歯周炎新分類 (AAP・EFP 2018) と歯周炎分類 (日本歯科医学会 2007) の関係」

茂手木義男，濱島秀徳，華岡真幸，岡本行人，三澤一男，谷 博一，岡田菜穂子，宮澤 康，櫻井千里，高木智幸

編集後記

夏場を前に、新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせるなか、政府はマスク緩和の新方針を打ち出しました。コロナ禍で制限されていた学会や会食、マスクによって露出する機会を失っていた口元。今後は、適切な感染対策を徹底したうえで、健康な笑顔が溢れるそんな世界に戻ることを心から願うばかりです。

さて、今回お届けするニュースレターは、吉村篤利先生の国際交流委員会からのご報告から始まり、ハイブリッド大会が予定されている第66回春季日本歯周病学会学術大会の案内（大会長 湯本浩通先生）、認定医・専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ、日本歯科専門医機構「共通研修」について、学会プロモーション活動について、薬機使用の考え方と学術大会ポスターチェックリストの整備について、学会認定資格の認定期限変更について、各賞および奨学金助成の案内と選考結果、企画調査研究助成終了報告、若手研究者の集い開催報告、さらに日本歯周病学会会誌の案内などが掲載されています。ぜひご一読ください。

会員の皆様、「学会プロモーション活動について」にも記載がございますが、日本歯周病学会のホームページのリンクで、人気イラストレーターのカナヘイ氏が手がけた「にゃんかむちゅ〜」を公開していることをご存じでしょうか？ このアニメは捕食者のネコと捕らえられたネズミが繰り広げるハートフルストーリーですが、歯周病予防のための口腔ケアの重要性が楽しく学べる内容となっております。動画再生回数も順調に伸びているようです。このような一般の方に向けた広報活動を行うことも、学会として大切なことだと強く感じた次第です。

最後になりましたが、9月には仙台にて秋季学術大会（大会長 山田 聡先生）がハイブリッド形式にて予定されております。多数の会員の皆様が参加され、有意義な大会となることを祈念しております。

（広報委員会副委員長 長谷川義明）